

22日から

京築産ヒノキの家具 若い世代へ 商品コンペ作品展示

西南女学院大と西日本工業大

西南女学院大生らの前で作品を発表する
西日本工業大の学生 昨年8月、吉富町



小倉北

京築地方産のヒノキを使い、若い世代が好む家具などの商品開発プロジェクトに取り組んでいる西南女学院大(小倉北区)と西日本工業大(刈田町)の学生たちが22、28日、小倉北区の小倉井筒屋で、これまで手がけた作品を展示する。2016年度の活動の集大成で、会場では作品のアンケートも実施し今後の活動に役立てる。

商品開発は西南女学院大がテーマを設定し、西日本

工業大が作品を製作、それを西南女学院大が審査するコンペを昨年3回実施。箱やノートカバー、名刺入れ

など7作品が選ばれた。そのうち3作品は、小倉南区と上毛町の家具作家が、学生たちの作品を基に製作を請け負い、工夫すべき点などを洗い出してきた。

22日開幕の展示会は、京築地方の森林資源の利用・普及や活動PRを目的に井筒屋新館1階で開催。家具作家が受注した作品などを展示する予定だ。期間中は両大生らが常駐し、来場客に作品の感想や問題点などのアンケートを行うという。寄せられた意見を元に新年度は作品を改良し商品化を目指す。25、26日には同店で京築地方の産物などをそろえた物産展を開くこ

とも計画されている。

プロジェクトを支援している、県行橋農林事務所(行橋市)林業振興課普及係の前田繁樹技師は「多くの人

に見てもらい、学生が新年度の活動の参考になるようにアドバイスを送ってほしい」と話している。

(佐伯浩之)